



## 新米で「アランマーレ秋田」を激励

11月8日(水)、当JAから女子バスケットボールチーム「アランマーレ秋田」に、令和5年産の「サキホコレ」あきたこまちを贈呈しました。秋田市を拠点に活動する同チームを食の面から応援しようと昨年から行っており、今回で2回目となります。

同チームの専用体育館を訪れた佐藤広美組合長が「農家が丹精込めた新米を食べて力をつけてください。さらなる活躍を期待しています」と話し、選手に新米を手渡ししました。選手は新米のパッケージを見た瞬間に歓声を上げ、笑顔で受け取りました。

📷 新米を受け取り喜び選手たち



## 普通そば初検査

男鹿市若美地区の福野集落や近隣地域では、戦後開拓された農地や集落を維持するために、そばの栽培面積の拡大による耕作放棄地対策に取り組んでいます。同地区で収穫された今年産のそば「階上早生」が、当JAの野石常温倉庫に運び込まれました。

11月8日(水)には普通そばの初検査が同倉庫で行われ、そばの検査資格を持つ当JA職員が品質を確認しました。当JAによるそばの買入は今回が初めてで、約4490キロが1等に格付けされました。

📷 1等に格付けされた「階上早生」



## 花の祭典で管内生産者3名が入賞

11月11日(土)と12日(日)、第44回秋田県花の祭典が秋田拠点センターアルヴェで開催されました。会場内には県内各地の生産者が丹精込めて栽培した花きや、生花店などが手掛けたフラワーアレンジメントが並び、来場者の注目を集めました。花束やフラワーアレンジ

メントを会場で作る実演や、寄せ植えの体験講座なども行われたほか、ダリアなどをふんだんに使った門状のオブジェも設置され、多くの人が秋田県産の花きに親しみました。

花き品評会では、当JA管内の生産者3名のダリアと輪菊が入賞し、来場者が感想を話し合ったり、スマートフォンやカメラで写真を撮ったりする様子が見られました。



1：伊藤錚さんのダリア  
「マーメイド」(秋田市長賞)

2：古屋久勝さんのダリア  
「黒王」(秋田市議会議長賞)

3：安田善八さんの輪菊  
「精の一世」

(秋田花の国づくり  
推進協議会長賞)

4：ダリアなどが  
鮮やかなオブジェ

